

第 10 期 事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

一般社団法人 JBN・全国工務店協会

1. 一般事項

(1) 組織

○会員の状況

・平成28年度

会員種別	
正会員	2,742
連携団体	89
協力会員	161
支援団体会員	8
合計	3,040

・平成29年度

会員種別		前年度からの増減
正会員	2,752	10
連携団体	89	0
関連事業者	144	—
賛助会員	21	—
合計	3,007	▼33

(2) 定期開催会議

○第10期定時総会 平成29年6月28日(水) 於タワーホール船堀 イベントホール
(審議事項)

第1号議案 第9期事業報告に関する件 第2号議案 第9期収支決算に関する件
第3号議案 定款の一部改定に関する件 第4号議案 会費等規程に関する件

(その他事項) 第10期事業計画及び収支予算に関する報告

原案の通り承認されました。

○JBN10周年記念大会

平成29年11月14日(火)～15日(水) 於 ロイヤルパーホホテル(東京・日本橋)

テーマ 工務店の技術継承と創生 ～未来に向けて～

式典・基調講演・懇親会・分科会・JBN協力会員ブース展示

参加者：700名

○全国連携団体事務局会議 1回開催(平成30年3月23日：東京)

平成29年3月23日：東京コンファレンスセンター 品川

1. 会長挨拶

2. 国土交通省平成30年度予算案等について「住宅生産課木造住宅振興室 武井室長より説明」

3. 第11期事業計画(案)/提携事業説明等について
4. 1) 代議員選挙結果報告・代議員総会までの流れについて
2) リフォーム事業者団体登録制度義務講習会について
5. 1) 大工育成プロジェクトについて
2) 女性の会について
6. 故青木宏之お別れの会について
7. 代議員総会 6月29日・30日 基調講演・研修会について
8. ブロック会議の日程について
9. JBNホームページリニューアルについて
10. その他

○連携団体ブロック会議 5回開催

(平成29年9月15日：青森・9月22日：富山・9月29日、30日：山口・10月13日：鹿児島
・10月20日：東京)

2. 事業

(1) 会員支援(サポート)事業

○リフォーム事業者団体登録規程(国土交通省告示第877号)第3条第1項の規定に基づき、団体として登録(登録番号10番)した。

○リフォーム支援事業(講習会)

増改築相談員研修会(新規・更新)	5回	東京・長野・ 岐阜・大阪・福岡	64名
------------------	----	--------------------	-----

○JBN認定品質住宅(瑕疵担保責任保険法人適用)事業

JBN認定品質住宅団体検査員講習会	19回	東京(5回)・埼玉・長野(2回)・ 福岡・岐阜(2回)・新潟(2回)・ 富山・大分・滋賀・大阪	139名
-------------------	-----	---	------

※2017年8月より認定品質住宅検査員WEB講習へ移行

受講者 81名(2018年3月まで)

○JBN仕様認定事業

HLP資格取得認定講習会	4回	熊本・京都・東京・大阪	21名
JBN省令準耐火構造利用講習会	18回	東京(7回)・福岡(2回)・大阪(2 回)・愛知(2回)・仙台・広島	230名
JBN準耐火建築物マニュアル設計講習会	7回	東京(2回)・仙台・大阪・ 名古屋・広島・福岡	186名

○セミナー・研修会等

(株) M's 構造設計主催 『構造塾』 (5回連続受講) 共催	15回	北海道・仙台・新潟・富山・長野・ 東京・山梨・群馬・名古屋・大阪・ 広島・岡山・香川・愛媛・福岡	148名
(株) M's 構造設計「構造塾」プレセミナー 『地盤オープン講座』	3回	東京・福岡・岡山	67名
『アプリで地盤判定ができる』プレセミナー	3回	東京・京都・広島	24名
「JBN財務セミナー『決算書は作るもの』	2回	東京・福岡	28名
『工務店が行う性能向上リフォーム、 維持管理計画』講習会	6回	福島・富山・名古屋・大阪・ 鹿児島・広島	102名
SUISUIわかる！木造住宅の『耐震診断/ 耐震補強設計/補強工事』の勘所研修会	8回	岡山・名古屋・大阪・ 福岡・東京・滋賀・富山・青森	170名
工務店の実務に役立つ木材の知識シリーズ (全4回シリーズ)	4回	埼玉・東京・大阪・京都	99名
工務店の実務に役立つ知識シリーズ 工務店の実務に役立つ法律の知識セミナー ～裁判例から学ぶあなたの会社の守り方～	2回	東京・大阪	25名
国産材マニュアル活用セミナー ～地域工務店や川上、川下の国産材利用促進 普及について～	3回	長野・熊本・岩手	103名
JBN工場視察研修シリーズ 『JFEスチール株式会社 東日本製鉄所 (京浜地区)』視察研修会	1回	神奈川	11名
次世代の会主催 基準法改正の背景を学ぶ講演会	1回	東京	18名
次世代の会主催 工務店経営を学ぶ講演会	1回	東京	9名
新規顧客激増！「介護リフォームビジネス」 大公開！勉強会～介護保険を活用したリフォ ーム経営に迫る～	1回	東京	18名
JBN研修会シリーズ2015「すぐに役立つ！ 現場写真の撮り方研修会」～プロカメラマン から実践的な撮影方法を学ぶ～	1回	千葉	13名

施主前・打ち合わせ時のプレゼンカアップ 『スピードスケッチ』セミナー	2回	山口・福井	38名
JBN木構造講習 2016 連続講座「山辺豊彦の 木構造講習会」 (3回連続受講)	3回	福岡	117名
JBN仕様書改訂版セミナー	2回	東京・仙台	15名
匠総合法律事務所主催セミナー『民法改正案 が建設業界・設計業界に与える影響』	4回	大阪・名古屋・福岡・東京	129名
知りましょうZEHのつくり方セミナー	7回	東京・愛媛・福岡・ 大阪・福井・青森・長崎	111名
『満足できる家を建てるために』セミナー	2回	東京・大阪	140名
『デザイン&家づくりを学ぶ!』セミナー (2回連続講座)	4回	東京・福岡	134名
『JBN 大工育成ガイドライン』説明会	6回	東京・香川・福岡・ 広島・愛知・長野	148名
「JBN 社員大工の育て方」 ～日本の住まいを守る若手大工の育成～	1回	東京	98名

○保険事業

(地盤調査)

- ・報国エンジニアリング 216件
- ・ジャパンホームシールド 1180件

(瑕疵担保責任保険)

- ・JIO 4,507件
- ・住宅保証機構 1,466件
- ・住宅あんしん保証 550件
- ・ハウスプラス住宅保証 89件

○JBN 資格制度

- ・JBN インспекターカード登録者数 平成29年度 306名 累計2,509名
- ・JBN 公認現況検査員 平成29年度 156名

○住宅履歴管理サービス(いえもり・かるて)事業

登録数	平成29年 3月31日	平成30年 3月31日	増減
いえもり・かるて	10,227	11,742	1,515

○情報提供事業

1). 定期刊行(隔月)「JBN レポート」(刊行) 3,500部

送付先 JBN 会員、協力会員(支援団体含む)、JBN 連携団体、特定行政庁、関係官公庁、関係団体、

- 2). 定期発送(毎月初) セミナー・講習会案内、関連資料等
送付先 JBN 会員・協力会員・連携団体・関係官公庁・関係団体宛に個別発送
- 3). ホームページによる情報発信
- 4). 緊急、重要な情報については、一斉 FAX による個別送信

○事業成果物などの刊行事業

No.	タイトル	発行年月	版	頁
1	目指せ棟梁。新人大工募集パンフレット	2017年4月	A4	2
2	一般社団法人 JBN・全国工務店協会 会員工務店 基本就業規則ガイドライン	2017年4月	A4	15
3	木造軸組み工法による省令準耐火構造 パンフレット【工務店向け】	2017年4月	A4	1
4	木造軸組み工法による省令準耐火構造 パンフレット【施主向け】	2017年4月	A4	2
5	日本の木と暮らす	2017年7月	A5	10
6	工務店による工務店のための全国組織 JBN会員募集パンフレット	2017年11月	A4	3
7	JBN10周年記念大会記録集	2018年3月	A4	33
8	第11期 事業方針～地域工務店のさらなる前進 に向けて～	2018年3月	A4	2

3. 公益事業「補助事業」

○国土交通省 住宅市場整備推進等事業

①「大工育成研修」地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業

日本の木造住宅を取り巻く社会的環境として、大工の入職者の減少による若手大工の絶対数の不足、生産体制の変化に対し、JBNの全国ネットワークを活かして、国内各地域事情を踏まえながら計画的・組織的な育成手法を検討した。

日々の育成を各工務店OJTにより行い、その補完のため各種研修会を開催する。今年度は3ブロックを選定し育成手法を検討し、育成のためのプログラム・設備を有する他機関との連携を図り活用する。また、地域独自の取り組みを行うグループと緊密に連携するとともに各種委員会を設置し、効率的な育成・教育手法を検討した。

②「女子活躍」地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業

工務店の女性を対象として、建築専門技術者、お客様、地域の間たちに、お客様に寄り添い、物理的、身体的、心理的、精神的な問題をヒアリングするパーソナルアシスタントを育成する。あわせて、効果的な指導を確立するための教材を通じて、効果を検証しながら進めていく。

- ①女性活躍委員会 委員会実施（運営委員会・テキスト編集委員会）②ブロック会議（説明会）③研修会④先進的に取り組んでいる工務店や企業等の視察&意見交換⑤事例集・パンフ・ガイ

③インスペクションによる住宅情報の活用に関する事業

空き家及び良質ストック住宅の活用による住み替え促進、中古住宅の流通活性化に向けた地域事情を反映した消費者ニーズに対応できる中古住宅流通・リフォーム市場の活性化を図る。消費者にとって安心安全な中古流通市場とリフォーム市場の環境整備を行う。現在蓄積している住宅履歴情報（いえもり・かるて）が活用されていない現状を踏まえ、住宅ポータルサイトと連動し、図面・点検記録等が手軽にみる事が出来るようにした。地域では不動産業者と工務店の連携が少ないため、住宅ポータルサイトを通じて情報を閲覧して、中古住宅の流通及びリフォームの活性化を図る。また、アプリの普及や利便性向上による利用の促進、システムの最終調整を行った。

○環境省

・平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業（低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業）

診断実施期間を交付決定日から平成30年2月1日までとし、受診希望者の募集は、家庭やオフィス等において暖房を多用し、エネルギー使用量がピークを迎える冬の厳寒期を中心に行った。但し募集人数が予定に達しない見込みの場合は、夏季、中間期においても募集を行った。診断実施件数は23件で、計画比の46%であった。【二酸化炭素排出量の削減効果】816 kg-CO2/年

4. 委員会活動

○次世代の会

（目的）

地域工務店が必要とされるために、何を学び、何をすべきか、知恵を出し合い議論し、実行していく。また、工務店業界を担うために家づくりや経営等のための研修、国や外部団体における様々な活動への参加と連携及び工務店が住宅産業の主役となるための活動などを通じて、次の世代の工務店経営者を育成する。

（成果）

- 1) 委員会を12回開催、次世代ディスカッションとして新たな切り口として災害対応やコンプライアンス、工務店経営、職人の育成等について意見交換をした。また、視察研修においては、各県の工務店と情報共有をすることで地方の現状、声をきくことでそれを次年度の事業に活用することができた。
- 2) JBN10周年記念大会D分科会 11月15日（水） 於 ロイヤルパークホテル
テーマ：「やばいゼー一ツチ！（住宅業界の荒波を生き残れ！）」
講師：新建新聞社社長 三浦祐成 氏

○国産材委員会

（目的）

会員工務店の実務に役に立つ国産材及び木材の情報提供を行うことにより、工務店の国産材に対する知見がより高まり、より使いやすい存在となることを目的として、年4回の講演会及び現地研修

会を行う。また、林野庁木材産業課との情報交換を定期的に行い、林野庁と地域工務店の意見をつなぐパイプとしての役割を果たす。

(成果)

1) 主催セミナー 工務店の実態に役立つ木材の知識シリーズを4回開催

①5/26(金) 第1回研修会 於 埼玉

マーケティングとしての木育(工務店にとっての木育とは)

講師: 埼玉大学教育学部教授 浅田 茂裕氏

②8/30(水) 第2回研修会 於 大阪

まちなかに木材を見せた木造をつくる～スギ板仕上げの準耐火構造外壁・間仕切壁の実用化～

講師: 桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井昇氏氏

③10/26(木) 第3回研修会 於 奈良県

「木のまち吉野のルーツを知る～吉野貯木・桜井をめぐる木旅行～」

三大人工美林にも選ばれている奈良県「川上村・吉野林業」から生まれる「吉野桧・吉野杉」を見学。

④2/7(水) 第4回研修会 於 東京

東京大学で学ぶ! お客様に語れる木材・木造住宅の魅力・体力・底力

講師: 東京大学アジア生物資源環境研究センター 教授 井上 雅文氏

2) JBN10周年記念大会E分科会 11月15日(水) 於 ロイヤルパークホテル

テーマ: 「木材にもトクホを」 講師: 九州大学 農学研究院 准教授 清水邦義氏

3) 住宅・都市イノベーション総合展の大阪と東京会場にて講演会を実施

①9月20日(水) 於 インテックス大阪

「実務に役立つ国産材の知識」 講師: 国産材委員会 委員長 木村 司氏

②12月13日(水) 於 東京ビックサイト

「工務店の実務に役立つ国産材の知識」 講師: 国産材委員会 委員長 木村 司氏

4) 林野庁の補助事業(木材利用促進事業)に応募する形で工務店における国産材の利用

実態調査を委員有志で行った(林経協青年部・木青連・国製協との共同事業)

①「国産材マニュアル活用」セミナーを熊本・岩手・三重・長野で開催

②「日本の木と暮らす」の活用

○中大規模木造ワーキング

(目的)

平成22年に施行された公共建築物等の木材利用促進法に基づき、JBN工務店が新しい仕事の分野として国産材等を用いた非住宅の中大規模木造建築の設計及び施工を手掛けられるようにする為の体制整備を研究する。施工体制に於いては各JBN工務店だけではなく、地域のJBN工務店同士の連携の他、(一社)全国木造建設事業協会(全木協)のパートナーである全建総連が持つ「建設労働者供給事業」等を通じて整備し、災害時における活動をよりスムーズに進められる体制を強化する。

設計体制に於いては(一社)中大規模木造プレカット技術協会(通称:PWA)等と技術連携をしながら、中大規模木造建築の設計を手掛ける、もしくはこれから手掛けようとする設計事務所等との連携や情

報提供、意見交換等を行い、実案件を通じてノウハウを蓄積していく。

また、本 WG での成果を各都道府県に持ち帰り、地域事情に即した各地方自治体等と企業間連携によって成果へ結び付ける。

(活動内容)

- 1) 実例の実績がある工務店・設計事務所等から知見を得て、中大規模木造建築物に関するソフト・ハード、川上から川下までのあらゆる課題を網羅的に洗い出し、整理し、検証を行う。
- 2) 上記の結果で地域工務店の取り組み範囲を明らかにし、PWA や日本集成材工業協同組合等課題の解決に相応しい他団体と連携しながら、関係省庁に対して要望を行う。
- 3) 木造校舎の構造 JIS A3301 の理解と教育訓練の実施。
- 4) 設計監理、施工管理の方法と品質管理体制の整備研究。
- 5) PWA 主催等の屋根トラスや高倍率耐力壁等の試験や中大規模木造建築の事例見学等への参加。
- 6) PWA 関連等から、中大規模木造建築プロジェクトの具体的案件について、受注・施工実施体制を整備する。
- 7) (仮称) まちのこども園代々木視察研修。
- 8) 山形県鶴岡市・私立羽黒高校、鶴岡市羽黒庁舎、市立朝日中学校等視察。

○既存改修委員会

(目的) 良質な住宅の維持保全と改修・改善の仕事は、地域工務店の重要な役割と認識し、住まい手から信頼され、安心され、評価され報われる仕組みを構築することを活動の基本とする。

自らの知識、技術の研鑽のための情報収集やセミナー参加を継続しつつ、高齢者居住安定化事業などの補助事業に取り組み、マニュアル集、指針事例集などをまとめ、各地域で講習会を開催、会員間の交流、他団体との意見交換など積極的に進める。

(成果)

- 1) 委員会を 10 回開催
- 2) 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター受託業務
「平成 29 年度既存戸建住宅の調査・補修方法等に関する情報の収集と整理業務」の履行
- 3) 『工務店が行う性能向上リフォーム、維持管理計画』講習会を、福島、富山、名古屋、大阪、広島で開催 全体で 102 名の参加
- 4) JBN10 周年記念大会 C 分科会 11 月 15 日 (水) 於 ロイヤルパークホテル
テーマ: 「健康から考える性能向上リフォーム」 講師: 近畿大学教授 岩前篤 氏
- 3) 住宅・都市イノベーション総合展の大阪場にて講演会を実施
9 月 21 日 (木) 於 インテックス大阪
「ストック型社会における工務店のリフォーム」講師: 既存改修委員会 委員長 鈴木晴之 氏

○環境委員会

(目的)

パリ協定を背景として、環境省の長期低炭素ビジョン小委員会における議論では 2050 年には既築住宅平均でゼロエネ化が提言されている。社会全体の脱炭素化に向けて住宅部門の役割は極めて大きく、

工務店業界はその中核的な役割を担っている。脱炭素社会を目指す社会変革のプロセスの中で、工務店が重要な役割を果たすことが出来るよう情報収集、研究開発、普及啓発を目的とする。

(成果)

- 1) ZEH 委員会と合同で委員会を 6 回開催。「ZEH への取り組み報告と情報共有」「倉敷木材㈱パッシブハウス視察」「LIXIL ショールーム視察」「エコワークス視察」「住宅建築における IoT の現状と今後の動向に関して」等。
- 2) JBN10 周年記念大会 B 分科会 11 月 15 日 (水) 於 ロイヤルパークホテル
テーマ:「省エネ性能向上リフォームを知る。」
講師: 岐阜県立森林文化アカデミー准教授 辻 充孝 氏
- 3) 住宅・都市イノベーション総合展の大阪と東京会場にて講演会を実施
①9 月 20 日 (水) 於 インテックス大阪
「工務店による環境に対する取り組み」 講師: 環境委員会 委員長 久原英司 氏
②12 月 14 日 (木) 於 東京ビックサイト
「工務店による環境に対する取り組み」 講師: 環境委員会 委員長 久原英司 氏

○ZEH委員会

(目的)

2020 年までに標準的な新築住宅を 2030 年までに新築平均で ZEH 化するという政策目標に向けて、JBN 会員工務店の ZEH への取り組みを支援し、JBN 会員工務店が新築する戸建住宅の ZEH 率をまずは 2020 年までに 4 割以上とすることを目指す。そのために国土交通省・経済産業省・環境省と連携し、情報収集、普及啓発の活動を行う。

(成果)

- 1) 環境委員会と合同で委員会を 6 回開催。
- 2) 建産協セミナー「ZEH のつくり方」全国 7 カ所で開催 全体で約 100 名の参加。

5. 部会及びプロジェクトの活動

○組織部会

(目的) JBN 連携団体の設立並びに JBN 会員・協力会員の増加を目的としている。47 都道府県に連携団体を設立することを当面の目標とし、既存の連携団体の会員増強や団体の基盤整備及び各都道府県庁との関係強化を推進する。また、協力会員を増加させることで、会員のメリットなどにむすびつけることを図る。

○政策調査部会

(目的) JBN のメリットを明確にし、ステータスの有る業界団体を作る為の政策調査を行う。

- ・部会は 6 ブロック+近隣会員で構成する現役実務者の会
- ・政策を実践し実務者としての意見要望をまとめ担当役員へ報告後、理事会へ報告する。
- ・種々の問い合わせに対しメーリングリストにより意見・実情を報告する
- ・JBN をとりまく省庁、各財団、団体、業界の実態を理解する為、意見交換会を開催する。

部会メンバー：16名部会 4回開催：5/22・7/25・10/6・3/28

(成果) 1) JBN10周年記念大会 分科会 11月15日(水) 於 ロイヤルパークホテル

テーマ：本格化する工務店の既存住宅流通ビジネス

工務店として流通に関わるべきか、4年前の中古住宅流通WGの活動から波及した、各地の取組を紹介すると共に、同政策にも携わる価値総合研究所の小沢理市郎氏を交え既存住宅流通における工務店の必要性、や新ビジネスへの可能性を語り合います。

ゲストコメンテーター：株式会社価値総合研究所 執行役員 事業部長 主席研究員 小沢理市郎氏

(成果) 2) 住宅・都市イノベーション総合展の大阪と東京会場にて講演会を実施

① 9月22日(金) 於 インテックス大阪

「工務店の中古住宅流通について」 講師：政策調査部会 政策部会長 池田 浩和 氏

② 12月14日(木) 於 東京ビックサイト

「工務店の中古住宅流通について」 講師：政策調査部会 政策部会長 池田 浩和 氏

○大工育成プロジェクト

(目的) JBN・全国工務店協会として社員大工を育成する。

近年の工務店さんの大工不足、中でも若手大工の不足は深刻な問題となっており、全国的に工務店経営に大きな影響を与えるようになって来ています。その原因としては少子化の進行、住宅建設工法の変化など様々な理由が考えられますが、時代の変化とともに、すぐれた育成方法であった一人親方による伝統的な徒弟制度が大工職を目指す現代の若者にとって受入れられなくなり、結果として20歳以下の大工職人が2,000人という状況に至っています。確かに、本人・ご家族にとって大工を一生の職業として考えた時、修行中の待遇やその後の就労・雇用環境の安定性に不安があるのが現実です。

JBNは「社員」として大工さんを育成することを目指して、社員化大工の育成実績のある会員工務店さんによる大工育成プロジェクトを設置し検討を続け、さらに国土交通省、厚生労働省とも議論を重ねて参りました。その成果として、ハロー・ワークや高校生を対象として利用できる大工採用のためのパンフレットも作成しました。今後、さらに大工さんの育成強化を進めていきJBNとして大工を育てる宣言を致します。

(成果)

1) 新人大工募集リーフレット・大工育成ガイドライン・大工育成実態調査を作成。

2) 「大工育成ガイドライン説明会」を東京・香川・福岡・広島・名古屋・長野・北海道・山口・静岡・宮崎・熊本・山形で開催 全体で372名の参加

3) 「JBNの社員大工の育て方」を開催

日時：2017年12月7日(木) 13:00~16:30 場所：すまい・るホール 参加者数：98名

4) 指導棟梁研修会を静岡・北海道で開催 全体で75名の参加

5) 住宅・都市イノベーション総合展の大阪と東京会場にて講演会を実施

① 9月22日(金) 於 インテックス大阪

「JBNの大工育成について」 講師：大工育成プロジェクトリーダー 武部 豊樹 氏

② 12月14日(木) 於 東京ビックサイト

